

佐久市中小企業振興資金あっせん審査委員会会議記録（要旨）

日 時：平成23年7月15日（金）

午前11時00分

場 所：佐久市役所 議会棟
第4委員会室

出席者14名（ 委員8名 事務局3名 各支所経済建設課長）

1. 委嘱書交付

市長より各委員（8名）へ委嘱書を交付（佐久市望月商工会 篠原氏 欠席）

2. 市長あいさつ

○佐久市中小企業振興資金あっせん審査委員会

1. 開 会

委員・職員自己紹介

2. 正副委員長選出

委 員 長 八十二銀行岩村田支店長 山崎 利男 委員

副委員長 佐久商工会議所専務理事 赤羽根寿文 委員

3. 正副委員長あいさつ

*本来、佐久市中小企業振興資金あっせん審査委員会は、資金の適正な運用を図るための諮問機関として設置されており、審査を行う案件があった場合に開かれるが、今回は委員の任期満了に伴う委嘱交付のために開催した。

会議の内容は、特別の理由がある場合を除いて一般に公表しないと規則に謳ってあるため、報告事項については、事務局から説明をした内容を抜粋して掲載します。

4. 報告事項

(1) 平成21年度・平成22年度融資あっせん状況について

事務局より資料を提示

：資金別14資金（HP中小企業金融のしおり参考に）業種別6種（製造・小売・卸売・飲食・建設・サービス）の月別の利用件数金額を年度ごとに表にし、説明。

平成21年度のあっせん実績については、利用件数426件、融資額24億9,052万7千円で、前年度対比として件数は22%の増、融資額は16%の増となっている。特徴は、平成20年10月以降の急激な経済変動いわゆるリーマンショックに対応して「緊急経済対策資金」を、平成21年2月に新設し、その需要が平成21年度にも続いたため、全体の増額につながった。

資金使途についても、経済の悪化に伴い運転資金が18%の増に対して、設備資金は21%の減となった。

平成22年度のあっせん実績については、利用件数406件、融資額20億9,760万3千円で、前年度対比として件数は5%の減、融資額は16%の減額となっており、平成21年度の緊急経済対策資金が74%を占めていたものが、64%に下がりリーマンショック以降の経済の悪化がやや落ち着いてきたと言えます。

平成23年度の6月までの実績については、利用件数83件、融資額4億8,136万円で、前年同期比として件数は5%の増、融資額は36%の増となり、経済がいったん落ち着いてきたかのように見えてましたが、3月11日の東日本大震災の影響が大きくあり、それによる急激な資金繰りの悪化に伴い、「緊急震災対策資金」が5月12日の施行以来、45件と全体の融資件数の半分以上を占めている。

これについては、関係機関に迅速に対応していただき、スピード感をもって支援が出来たものと考えている。

今後についても、経済動向や資金需要を常に把握しながら、それに合った制度を設計して、的確に対応してまいりたいと考えている。以上報告

(2) その他 H23金融のしおりについて

佐久市中小企業融資制度資金概要平成23年度版を市ホームページに掲載した旨を報告。

6. 閉 会 11:40